

むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業基本方針（素案）
に対する意見提出手続（パブリックコメント）の結果について

こども支援局 子育て事業部 児童福祉施設整備課

「むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業基本方針（素案）」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

平成27年5月25日（月）から平成27年6月24日（水）にかけて実施した意見提出手続（パブリックコメント）について、611名から2,055件のご意見をいただきましたので、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

1. 意見提出者 611名（男性：110名、女性：489名、不明：12名）

【内訳】

年代別	
10歳未満	9人
10代	11人
20代	93人
30代	196人
40代	146人
50代	60人
60代	33人
70代	19人
80代	6人
90代	2人
不明	36人

居住地域別	
本庁	244人
鳴尾	45人
瓦木	151人
甲東	59人
塩瀬	3人
市外	71人
不明	38人

提出方法別	
郵送	14人
電子メール	33人
ファックス	71人
窓口	493人

2. 意見件数

内 容		件 数
■ 1. 基本方針	全般に関すること	538件
	（1）事業目的	15件
	（2）事業概要	303件
	（3）事業スケジュール（予定）	11件
	（4）施設整備予定地	274件
■ 2. 統合施設として期待できること	全般に関すること	6件
	（1）保育所	17件
	（2）児童館	3件
	（3）近接する子育て支援施設との連携	2件
■ 計画全般に関すること		869件
■ その他		17件
合 計		2,055件

「むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業基本方針（素案）」に対するパブリックコメントの回答分類

分類番号	分類	内容	意見番号	件数
①	素案に盛り込み済み	意見内容が既に計画に盛り込まれているもので、特に修正を必要としないもの	8, 12, 63, 121, 137	13件
②	意見を反映	意見内容をもとに、素案の修正や追加等を行ったもの	5, 6, 14, 39, 40, 51, 53, 65, 77, 85, 114, 154, 155, 156	253件
③	今後の参考・検討	意見内容については、素案の修正はしないが、今後、事業を進める際に参考・検討とするもの	1, 3, 4, 10, 11, 13, 15, 16, 17, 18, 22, 23, 26, 27, 30, 31, 35, 36, 38, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 48, 50, 54, 55, 56, 58, 60, 61, 64, 66, 67, 68, 71, 72, 82, 90, 93, 94, 95, 96, 97, 99, 100, 101, 105, 106, 108, 109, 111, 113, 115, 117, 118, 120, 126, 127, 129, 133, 134, 136, 141, 142, 145, 146, 149, 150, 152, 153, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163	1, 108件
④	その他	市の考え方や方向性に合致しないもの、または、この事業と直接関係のないもの等	2, 7, 9, 19, 20, 21, 24, 25, 28, 29, 32, 33, 34, 37, 47, 49, 52, 57, 59, 62, 69, 70, 73, 74, 75, 76, 78, 79, 80, 81, 83, 84, 86, 87, 88, 89, 91, 92, 98, 102, 103, 104, 107, 110, 112, 116, 119, 122, 123, 124, 125, 128, 130, 131, 132, 135, 138, 139, 140, 143, 144, 147, 148, 151, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171	681件
合 計				2,055件

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
全般に関すること					
1	210人以上の子供の保護者、祖父母などの把握は不可能に近く、受け渡し事故、伝達ミス、不審者と保護者の区別がつかないかなど不安。	172	現在も、特に年度当初は、個々の状況に応じて児童に名札を着用するなど、子供や保護者の把握に努めています。統合保育所においても名札の着用や、職員間の連携の徹底、セキュリティ設備の充実など安心で安全な保育に努めてまいります。	1, 2	③
2	子供に適した100人規模の保育所にすべき。	146	休日保育など特別保育の実施や、地域の子育て支援の充実などの課題に取り組むにあたっては、一定数以上の職員体制と相応の施設規模が必要であり、定員100名規模の保育所では、実施は困難であると考えております。市としては、現在計画している統合保育所において、余裕のある職員体制及び施設規模の中で、これらの取組みを着実に推し進めていきたいと考えております。	1, 2	④
3	駐車場の設置や歩道を広げることで園庭が狭くなり、子供たちにメリットがない。	128	統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分の一つとなります。これらを広げたい一方で、延床面積を削減することができ、保育所の園庭一人あたりの面積につきましては、現在の芦原保育所程度となる見込みです。面積的には今まで以上にのびのびとした遊びも可能となります。	1, 2	③
4	保育される子供たちの安全を考えていないのではないか。騒音、環境の変化などで子供のストレスが増えることも考えられる。	22	今後も子供の安全を第一として保育いたします。新しい環境の中でも子供の気持ちを受けとめながら落ち着いて生活や遊びができるよう保育環境を作るようにしてまいります。	1, 2	③
5	送迎時には400人近い人が集まることになり、かなり危険。	20	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 保育所の入口は、子供たちの飛び出し防止のため二重にする予定です。また児童館は、帰宅時に児童が集中する場合には、児童厚生員等が見守りを行います。さらに、保育所の子供と児童館の児童が交錯しないよう、各々の入口を完全に区分するなどの方法により、安全を確保いたします。送迎時には、子供たちや保護者の皆さんの安全をまず第一に考え、駐車場対応の職員配置を検討するなど、安全対策に万全を期してまいります。	1, 2	②
6	人の出入りの頻度が高くなり、紛れて不審者が入ってしまう可能性の問題があるのでは。	9	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 子供が飛び出さないように、入口を二重にする予定ですが、どちらも電子錠にするなど、子供の安全・安心のために、最善と思われるセキュリティ対策の導入に努めてまいります。	1, 2	②
7	場所を変えるのは、現在の利用者の気持ちや利便性を考えていない。	8	今回の計画は、耐震性の向上とあわせて、保育の質の向上や特別保育の拡充など、市としての課題に積極的に取り組むための拠点的保育施設として整備するものです。現在利用されている方の中には、移転によりご不便をおかけする方もおられると思いますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。	1, 2	④
8	基本的に賛成である。 ・安全面の配慮、近隣施設との連携、老朽化、耐震性の問題も解決される有効な策である。 ・事業目的及び事業概要については、建物の建設に多少の疑念はあるが計画通りに進められれば、問題なしと言え得る。 ・保育所及び児童館の耐震化を進め、その他施設との連携を進められるゆとりある施設とする方針に共感した。	6	より良い計画となるよう努めてまいります。	1, 2	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
全般に関すること					
9	統合によって通所が不便になったり、大規模化で子供たちの環境が変わったり、保育の質が変化することを心配する。保育所は少しでも地域に根ざしたきめ細やかな目の届くものが良い。	5	市は、地域の全ての子供の豊かな育ちを保障するため、保育所を地域に開かれたものにし、専門性を活かした役割を担うことで地域に根ざした保育に取り組んでまいります。	1, 2	④
10	事故の確率などは考えているのか。統合施設の先行事例を考慮するなど、事故防止策の具体的な説明があるべき。	4	本市の公立保育所においては、保育所の規模により、事故の確率に差があるということはありません。また視察をした他市の先例保育所においても、大規模であるから事故の確率が高いということも聞いておりません。職員間の連携や情報共有について副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部といったブロックごとの保育体制など運営上の様々な工夫がなされており、新しい統合園の運営にあたっては、これらの事例を参考にしながら、安全で安心な保育体制を構築していきたいと考えております。	1, 2	③
11	児童数が多すぎるため、プールや運動会、発表会、外遊び、遠足の1人あたりの持ち時間や、1人あたりの園庭面積も減り、子供の発育する環境が損なわれる。将来を担う子供たちが、元気に発育することを、市の事情で阻害し、子供の権利を侵害することになる。何よりも市内の全ての子供たちが、安全・安心に発育できることを最優先すべき。	2	園庭一人あたりの面積につきましては、現在の芦原保育所程度となる予定です。プールは、他の保育所でも導入している組み立て式のものを複数設置するかたちとすることで、期間外の園庭の広さの確保と、期間中のプール遊びの時間の確保を両立いたします。	1, 2	③
12	保育所について、耐震化をしっかりとしてもらえることがありがたい。	1	より良い計画となるよう努めてまいります。	1, 2	①
13	施設内容については、休日、長時間、病(後)児・障害児保育、家庭支援は重要だと考えている。計画対象の土地、現保育所の土地なども活用し実現させていただきたい。	1	市全体の土地や施設の活用を検討しながら、今後も子育て支援の充実に努めてまいります。病(後)児保育につきましては、医療機関との連携等も含めた検討となります。	1, 2	③
14	駐車場・駐輪場を同一敷地内に設置してほしい。周辺道路の交通量が多く、幼い子供を連れて横断するのはリスクがある。また、駐車場の入り口と自転車・歩行者の出入り口は別としてほしい。送迎時間は混み合い、時間の余裕がない人も多く、事故のリスクが高くなる。	1	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 同一敷地内に駐車場・駐輪場を設置する予定です。駐車場の入り口と自転車・歩行者の出入り口も分離いたします。	1, 2	②
15	子供が落ち着いて過ごせるような施設の造り、人員配置を考慮してほしい。	1	他市の事例等も参考に、子供が落ち着いて遊びや生活ができる保育環境となるような施設設計を行います。これまで本市で行ってきた国基準以上の人員配置を継続し、子供たちが落ち着いて過ごせる保育環境を作ってまいります。	1, 2	③
16	統合による環境の変化で子供にストレス、負担がかかる。統合の前から保育士を加配し、それぞれの保育所間の保育士の交流させ、統合後も一定期間は加配をするべき。	1	子供が安心して過ごせ、生活が出来るように職員配置等については、保護者の方々や職員からの意見も参考に検討してまいります。	1, 2	③
17	事故が起こらないよう、警備・見守りの方に常駐していただくなど配慮が必要。	1	出入りの安全確保が出来るような設計や道路整備等を行い、駐車場対応の職員配置等についても検討してまいります。	1, 2	③
18	当該施設の建設において、複数施設の多数の利用者の自動車送迎にどう対処するのか。電気量販店の利用者からは今でも土日には警備員が誘導しないと整理できない日もあり、そうしたところからの苦情があることも検討対象にすべき。	1	土曜日の保育所の利用率は平日と比較して少なく、休日保育を実施しても土曜日よりも更に少ない件数と見込んでおります。登園時間帯も近隣の商業施設オープン前が主となります。	1, 2	③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
全般に関すること					
19	保育需要の増大に伴い、定員を現行の210人よりも増やすことを要望する。	1	一つの保育所の定員については、保育ニーズとともに、保育所機能や保育の質も考慮しながら決定してまいります。	1, 2	④
20	定員を150名に減らし、むこう3年間は合築に向けて1歳児、2歳児クラスは児童数の増加を抑えるべきである。	1	特別保育を実施するための規模や地域の保育需要などを考慮しながら計画を進めてまいります。	1, 2	④
21	新設予定地は交通量が多く、また、園庭を十分にとることができない。統合するなら、「建物を2棟にする」、「園庭、プールを分ける」必要があると考え、より広く敷地が必要。	1	統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分の一つとなります。これらを広げたいうで、園庭を既存の保育所と同程度確保することができます。プールは、他の保育所でも導入している組み立て式のを複数設置するかたちとすることで、期間外の園庭の広さの確保と、期間中のプール遊びの時間の確保を両立いたします。	1, 2	④
22	子供同士のトラブルに対応できない。	1	現在、本市では、乳児部においては、クラスごとに担当が役割を分担し、クラスの子供の保育を進めています。また幼児部も、3・4・5歳の担当が一人ひとりの役割を果たしながら連携し合って保育をしています。統合園においても、今までと同様に、子供の数に見合った保育士が担当し、丁寧な保育に努めてまいります。	1, 2	③
23	職場として考えると、保育士が40～50人、早朝・夕方パートが加わり、大人の人数も多すぎる。	1	保育士の配置基準は、これまでと同様となることから、児童の定員に合わせて職員の総数は増えます。保育士間で情報共有を徹底し、共通理解を深めるより一層の工夫が必要となってまいります。他市の事例においては、職員間の連携や情報共有について副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部といったブロックごとの保育体制など運営上の様々な工夫がなされており、新しい統合園の運営にあたっては、これらの事例を参考にしながら、これまで以上に安全で安心な保育体制を構築していきたいと考えております。	1, 2	③
24	市長は、「質の高い保育を提供する」と市会で発言しているが、今回の合築計画は、その意に反するのではないか。質の高い保育の指標として、保育者と子供の比率、クラス集団の大きさ、保育所の規模と物理的環境（保育室・園庭の広さ、交通・騒音環境）などがあげられる。保育所の規模を拡大すれば、この保育の指標の水準を下げることに繋がる。「質の高い保育を提供する」のであれば規模を拡大すべきではない。	1	保育士の配置基準や面積基準、クラス人数等は今までと同様となります。さらに、大規模園においては複数クラスを作ることが可能となります。クラス替えを行うことで、多くの友達や保育士との関わりが増え、幼児期の成長に必要な豊かな人間関係を築くことができます。乳児に対しては、子供の人数や月齢に応じたクラス編成が可能となることから、それぞれの子供にふさわしい落ち着いた環境のなかで保育を行えます。環境にも留意し、今後も質の高い保育の提供に努めてまいります。	1, 2	④
25	園庭は倍以上の広さが必要となる。今でさえ園庭を使う時間を区切り、年齢ごとのクラスで出ている。210名定員となると1つの年齢が今の2クラス分になるので倍以上の広さがなくては同じ時間にできる事ができなくなり、今より短い時間で外遊びを区切る事になる。児童館の園庭、建物、駐車場、駐輪場、2重の門、歩道の拡張等を考えると、今の倍以上の園庭が取れるとは思えない。乳児、幼児にとって戸外遊びは大切でその時間を減らしたり、のびのびと遊べないようになる計画に賛成できない。	1	現在の計画では、子供一人あたりの園庭の面積は、既存園と同程度を確保できる予定です。今までと同様の遊びスペースや時間を確保することができます。今後も戸外遊びの時間を大切に取り入れるようにしてまいります。	1, 2	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
全般に関すること					
26	基本方針には、理想ばかりが書かれているが本当に実行できるのか。実行できずに事故などが起こった場合、「不幸なことだった、運がなかった」などで済まされてしまうのであれば納得がいかない。	1	新しい保育所は、本市における拠点となる保育施設を目指し、今後も現場の意見等を十分に踏まえ、安心で安全な保育の充実に努めてまいります。	1, 2	③
27	不安でいっぱい職員に子供や孫を預けたいか。大きな保育所で大人数の子供を小さく分けて家庭的とは言わないでほしい。目が行き届かず事故に遭い「なぜこうなったか分からない」と言われたいか。絶対にこんなことが起こりえないと言えるか。市民の子を持つ親、職員の思いを無視しないように約束してほしい。	1	他市の先例保育所においては、職員間の連携や情報共有について副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部といったブロックごとの保育体制など運営上の様々な工夫がなされており、新しい統合園の運営にあたっては、これらの事例を参考にしながら、これまで以上に安全で安心な保育体制を構築していきたいと考えております。大規模であっても、目が行き届く少人数の環境を作り、子供たちが安心できる環境を整えてまいります。	1, 2	③
(1) 事業目的					
28	長時間保育、休日保育、障害のある児童への特別保育に取り組むには、200人超えの保育所では困難。これは210名の保育所に統合しなくてもできる。100人規模の保育所が新規事業をすれば良い。統合の目的にいれるのはおかしい。	10	休日保育等の特別保育の実施につきましては、シフト勤務制など柔軟な勤務体制を組むための一定数の職員数や広い保育スペースが必要と考えております。定員100名規模の保育所における保育士数では、ローテーション等の勤務体制の負担が大きく、実施は困難であると考えます。(■2. 統合施設として期待できること (1) 保育所への意見も集約しています。)	1	④
29	むつみ+芦原1,603㎡+1,228㎡=2,831㎡、予定地2,742㎡で2園を合わせると今までの敷地より狭く、更に駐車場等をつくることを考えると広くなるとは思えない。なのに広くなるからさらに新事業追加するのは無理と思う。	1	統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分は一つとなり、共有部分の面積を削減しながら、障害児保育に必要な休養室や保護者相談室の設置も可能となります。	1	④
30	障害を持った子供たちと統合保育をしていくうえで、健常児、障害児の子供たちがお互いに良い影響を与え成長していけるような環境が整えられるのか。保育士も体力、精神面で大変になるのでは。	1	看護師の配置や静養室の設置を検討し、健常児、障害児が共に成長していくような環境を、現場の保育士の意見を取り入れながら整備してまいります。	1	③
31	安心・安全な保育が確保されていることを前提として、長時間保育等他の機能が付加されるのであればありがたい。	1	長時間保育等、特別保育の実施にあたっては、人員配置等、安心・安全な保育ができるように、努めてまいります。	1	③
32	「老朽化が進んでいるむつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所を・・・移転し、新たな統合施設として整備し、耐震化を図る」とのことだが、2園が統合することで児童定員数は210名になり、子供にとっては何のメリットもない。現地での建替え、または、耐震化を図り、子供にとって適した人数規模の保育所を作るべき。	1	このたびの大規模化の計画は、施設面や保育士配置のスケールメリットを活かし、本市では、これまで取り組めていなかった休日保育や障害児保育などの特別保育を実施し、西宮市全体の保育の水準を向上させようというものです。小規模の保育所における保育士数では、ローテーション等保育士の負担が大きく、実施は困難であり、市の計画案が適切であると考えております。	1	④
33	『「みやっこキッズパーク」のみならず「西宮市立子育て総合センター」や「西宮市立こども未来センター」との連携を進めるとあるが、統合しなくても可能。	1	全ての保育所において同レベルでの連携を行うことも困難です。統合施設は、その立地的なメリットを活かし、連携のモデル園として、他園と「西宮市立子育て総合センター」及び「西宮市立こども未来センター」との効果的な連携を検討、提示していきます。なお、障害児保育の充実にあきましては、こども未来センターと連携を常に行える立地と、施設としての一定の規模の両方が必要と考えます。	1	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
(2) 事業概要					
34	210人の児童数は多すぎる。	284	子供の人数は増えますが、保育士は、現在と同じ、市の基準による配置となります。従って、大規模保育所であっても、0歳児、1・2歳児、3・4・5歳児の職員配置において、一人の保育士が、保育をする子供の人数は、他の規模の保育所と変わることはありません。今までと同様の安全に留意した環境の中で、今までどおりの乳児保育、幼児保育を進めてまいります。	1	④
35	弾力化も含めれば、250人規模になるのでは。合築後、何十名かを転園させるのか。	4	28～30年度にかけて、全市的な保育所や小規模保育施設の整備などにより、保育が必要な児童の受け入れ枠を増やしてまいります。このことにより、むつみ保育所と芦原保育所の定員の弾力化率を下げたいと考えております。	1	③
36	200人規模の保育所では、一人ひとりの子供の気持ちに寄り添った保育ができるとは思えない。子供の把握、保護者の把握、子供を取り巻く状況の把握、一人ひとりの生育歴、アレルギーの有無など、日々の保育はきめ細やかな対応が必要であり、更に、それを共通認識とすることが必要。200人を超す規模では全員の把握が困難。	2	他市の先例保育所においては、副保育所長の複数配置や幼児部乳児部のブロックごとの勤務の体制などの工夫をすることで、児童の情報その他保育に必要な情報を共有されております。本市においても、他市の事例を参考に情報を共有しやすい体制や人員配置を職員等の意見も聞き、検討してまいります。	1	③
37	建築設計に関しては、デザインアップ後、第三者（安全に関するプロフェSSIONALの方または機関）に安全性についての確認（動線、設計に関して安全面の不安がないか、きちんとクリアできているか）を行ってほしい。	1	設計については、現場の方等の意見を参考にしながら、より安全な施設整備に努めてまいります。	1	④
38	園庭には、子供達が思いっきり遊べるような遊具を設置してほしい。また、日光が強い時期には日よけを簡単に設置できるようにしてほしい。	1	安全に子供が全身を使って遊べる遊具や、使いやすい遮光ネットの設置を検討してまいります。	1	③
39	門や通路については、2人乗り用のベビーカーでも行き来がしやすいようできるだけ広くしてほしい。段差もなくし、園庭を通らなくても建物にいけるような設計にしてほしい。雨の日は園庭がぬかるんでいて子供が歩きにくく、ベビーカーで通るのも大変。芦原保育所は職員がマットを敷いて対応してくれているが、その手間・負担が省ける。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 門や通路については、極力、幅を確保して段差もなくし、園庭を通らなくても建物へ行ける動線となるよう検討いたします。	1	②
40	設備面について、今後30～40年程度使用するもので、現場で働いている職員の意見を参考にすべき。雨天対策として、自転車・ベビーカー置き場には屋根などを設置してほしい。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 長期的に使いやすい設備となるよう保育所職員の意見も参考にし、検討してまいります。また、雨天時の自転車・ベビーカーの置場の屋根設置のご意見も参考にさせていただきます。	1	②
41	ベビーカー同士がすれ違いできるように、南側の歩道は拡幅し、フラットにすべき。	1	周辺道路対策、特に南側道路につきましては、歩道が3mとなるよう拡幅するだけでなく、安全面について十分検討いたしますが、視覚障害者のための誘導用ブロックや車道と歩道間のガードレール等で、ベビーカー同士が必ずしもスムーズにすれ違えない場合もございます。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。	1	③

意見番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	分類番号
■ 1. 基本方針					
(2) 事業概要					
42	児童館について、保護者の手荷物の置き場所を考慮してほしい。保護者がお茶や軽食をしながら情報交換ができる談話室のようなものがあればいい。	1	手荷物置き場や地域の方々が集えるような場所を検討しております。飲食については、児童館は原則禁止となっております。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。	1	③
43	幼児と乳児のそれぞれが過密になることなく安心して遊べる園庭・居室の確保、心身の発達を促す遊具や樹木等の設置、災害時の避難への十分な用意、オープンスペースと閉じられた落ち着ける空間とのほどよいバランスなどを期待する。	1	保育環境につきましては、子供の発達にとって、より良いものとなるように、施設設計を行ってまいります。	1	③
44	施設として、安全性はもちろん、子供一人ひとりが十分に様々な体験に向き合えるスペースが保たれていること、みなと一緒に何かができるところがあること、同時に個人が安心できるスペースがあることが必要。	1	ご意見を参考に、施設設計に反映できるよう努めてまいります。	1	③
45	児童や幼児だけのエレベーター利用など懸念されるところもあるが、設備に不用意な利用をさせない対応を実施する必要がある。	1	エレベーターはバリアフリー化に欠かせませんが、保育所では、幼児だけで利用したり、操作できないよう安全に配慮いたします。	1	③
46	児童数が200名を超すと、現行の職員配置基準では不十分。安全面、きめ細やかな配慮、連携を密にするためには、正規保育士の増員が必要と考える。	1	副保育所長の複数配置や幼児部乳児部のブロックごとの勤務の体制など、保育に必要な情報を共有しやすい体制や人員配置を検討しております。	1	③
47	公立は職員の転勤もあり、100人前後の規模でも先生方が子供を把握できているかという疑問なのに、210人など考えられない。	1	統合施設では、職員も増えるため、副保育所長の複数配置や幼児部・乳児部のブロックごとの勤務など、保育に必要な情報を共有しやすい体制を検討してまいります。	1	④
48	今でも公立保育所は基本一律な保育で禁止事項も多く、パートの先生も多く、迎えに行っても担任にたまにしか会えず、早くに迎えに行っても、担任は事務仕事でパートの先生が子供を見ていて、はたして子供一人ひとりを把握できているのか疑問に感じる。転勤もありパートの先生も5月で変わり、今では名札を付ける程だ。これが250名になり一人ひとりをたいせつにした子供の気持ちに寄り添った保育ができるのか。私立で100名以下の保育所で、とても暖かい保育をされている。保育ルームもきめ細やかだ。公立が見本になりそういった保育をするべきだと思う。マンモス園ではできない。	1	他市の先例保育所においては、副保育所長の複数配置や幼児部乳児部のブロックごとの勤務の体制などの工夫をすることで、児童の情報その他保育に必要な情報を共有されております。本市においても、他市の事例を参考に情報を共有しやすい体制や人員配置を職員等の意見も聞き、検討をしてまいります。どの公立保育所においても責任を持って保育できるように職員が連携し保育を進めてまいります。大規模の保育所においても乳児期はできるだけ小さな集団で過ごせるようにし、園の子供達一人ひとりを大切にしたい保育を進められるように努めてまいります。	1	③
49	予算の関係で1つに統合すると聞いたが、別々に建替える場合と統合する場合の予算を出してほしい。	1	予算の関係で統合を進めるものではありませんが、仮に比較しますと、前者は15億円程度、後者は13億円程度になると想定しております。	1	④
(3) 事業スケジュール（予定）					
50	今の保育所の耐震は考えているのか。3年待てというのか。	11	現在、保育所の耐震化につきましては、順次進めているところであります。芦原保育所については、むつみ保育所・児童館に実施した耐震性向上のための工事を行う予定です。なお、この整備事業計画であれば、むつみ児童館を休館せずに耐震化を行えます。	1	③

意見番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	分類番号
■ 1. 基本方針					
(4) 施設整備予定地					
51	交通量が多く、危険。	195	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 現在、周辺の交通渋滞緩和のために、これまでの公立保育所における最大駐車スペースの倍にあたる8台分の駐車スペースを敷地内に確保する予定です。また、駐輪場についても、朝の保育所の登園時には、児童館の駐輪場も有効活用することで、歩道への自転車のみ出し解消に効果があるものと考えております。さらに、統合施設の周辺歩道について、利用者が、現在よりも安全に通行していただけるよう、南側道路については歩道部分を3mとなるよう拡幅し、西側にも1.5m幅の公開空地を設けるとともに、南側道路の改良も行う予定です。今後とも安全に配慮してまいります。	2	②
52	むつみ児童館が遠くなり、平木校区外に移ると子供たちだけでは利用できなくなる。大人も雨の日には利用しづらくなる。	20	むつみ児童館には、平木小・深津小・高木小・安井小などから子供達が来館しています。統合することにより施設面積も大幅に拡がり、世代間交流がしやすいホールやフリースペースの設置も可能となるなど、より良い児童館となるよう移転統合を計画しています。	2	④
53	道路の状況、駐車場のことは考えているのか。車の送迎は、事故が起きないようにかなり広いスペースが必要。	13	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 現在、公立保育所では、一番多い園で駐車場を4台確保している状況であり、統合園においては、その2倍にあたる8台分を確保できると見込んでおります。しかしながら、雨天時等の際には混雑が予想されることから、駐車場対応の職員配置の検討も含め、安全対策の充実に努めてまいります。	2	②
54	保育所周辺の交通環境の安全確保も必要。違法駐車による交通渋滞対策、一般市民の歩行を妨げない幅の歩道などを検討すべき。今津西線の歩道整備について、植栽が歩道の3分の1程度を占めていて、歩道が狭くなっているため、植栽の撤去すべき。歩きにくいので、排水溝の蓋をなくすなど、別の方法で対応すべき。近隣道路も含めて改善を要する。	10	周辺道路対策として、歩道の拡幅や公開空地の設置だけでなく、南側道路の改良も予定しているところですが、今津西線の歩道部分につきましても、道路管理者である兵庫県と、安全性を高めるための協議を進めてまいります。	2	③
55	計画予定地の児童館へ子供を行かせるのは非常に不安。	8	現在のむつみ児童館にも、平木小・深津小・高木小・安井小などから来館しています。今後も交通安全を呼びかけるなど安全教育に努めます。	2	③
56	排気ガスやシンナー臭など、環境的に良くない。	6	排気ガスや悪臭などの大気環境につきましては、法及び条例に基づき整備予定地の環境の保全に努めるよう市関係部局と調整してまいります。	2	③
57	2つの保育所、児童館をまとめるには計画予定地は狭い。しっかり子育てする環境を作ることが大切ではないか。	3	統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分を広げるなどゆとりのある設計にすることができます。計画予定地をより有効に活用し、しっかり子育てする環境として整備できるよう、工夫した設計に努めてまいります。	2	④
58	キッズパーク横だと阪急西宮北口までが遠くなる。むつみ保育所を利用している保護者で阪急を利用している人は通勤時間が大きく変わる。むつみ保育所から山手幹線を超えて450mの移動は、近くなる人もいるかもしれないが、駅から遠くなって不便を感じる人のほうが多いのでは。	2	今後本市の子育て支援の拠点となる施設の設置や保育の質の向上を考え、この統合施設案を提案したものです。送迎時間が変わることに伴い、改めて保育時間を設定することになります。通勤時間等でご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。	2	③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
(4) 施設整備予定地					
59	たかが数百メートルの移動と簡単に言うが信号2つ、山手幹線を越えての送迎は保護者の負担が大きい。お迎えの時間ギリギリまで仕事をしているので、当然時間に間に合わない。それで延長と言われたら延長代は市が負担してくれるのか。建替えを要求する。	1	今後本市の子育て支援の拠点となる施設の設置や保育の質の向上を考え、この統合施設案を提案したものです。送迎時間が変わることに伴い、改めて保育時間を設定にすることになります。通勤時間等でご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。	2	④
60	移転で駅からは遠くなる。延長保育でもお迎えがギリギリの保護者にどのように対応するつもりか。	1	現在、近くでご利用いただいている方々には、ご不便をおかけすることになりますが、送迎時間が変わることに伴い、改めて保育時間を設定にすることになります。開所時間にかかる転所等につきまして、今後検討してまいります。	2	③
61	むつみ保育所を利用していたもしくは利用したい人にとっては不便になると思われるが、対策はあるのか。	1	現在、近くでご利用いただいている方々には、ご不便をおかけすることになりますが、今後本市の子育て支援の拠点となる施設の設置や保育の質の向上を考え、この統合施設案を提案したものです。送迎時間が変わることに伴い、改めて保育時間を設定にすることになります。通勤時間等でご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。	2	③
62	むつみ保育所が移転してしまうと平木小学校区には小規模な保育所があるのみになってしまう。保育所は子供を預かるだけでなく、地域の子育ての支援も担っているはず。予定地の近隣に住宅がないのは、住民からの騒音等の苦情が減るので良いかもしれないが、地域に根ざした保育所、子育てを社会で担っていくのなら、今の地域のままの方が良い。	1	保育所のニーズの高い地域と保育所のある場所の地域的なミスマッチがあり、現在その解消に向けて、小規模保育施設等の募集を行っているところです。このたびの保育所の移転により、通園距離が遠くなる方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。	2	④
63	地理的には公共交通機関（阪急）の利用も可能であり、山手幹線にも近いことは良いことと考えるが、現在はキッズパーク利用者も自動車駐車に電氣量販店の有料ガレージ利用者が多く目立つ。	1	より良い計画となるよう努めてまいります。	2	①
64	移転予定先について、土壌、空気等の汚染がないか、環境の確認を行い、必要であれば改善を行ってほしい。空気清浄機能などの対策も視野に検討してほしい。	1	土壌汚染につきましては、調査で特に問題なしとの結果が出ています。排気ガスや悪臭などの大気環境につきましては、法及び条例に基づき整備予定地の環境の保全に努めるよう市関係部局と調整してまいります。空気清浄機能については、他の保育所でも導入しており、統合施設でも導入を検討しております。児童の健康対策に十分留意してまいります。	2	③
65	交通量が多く、バス・トラックなどの大型車が通ることから、出入口付近が心配である。道路と歩道の境目に柵を設置してほしい。	1	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 南側道路につきましては、歩道拡幅だけでなく、道路と歩道の境目にガードレールの設置をするよう関係機関と調整してまいります。今津西線につきましても、道路管理者である兵庫県と、安全性を高めるための協議を進めてまいります。	2	②
66	キッズパークの横に立地することで、入所者には好都合でも、パークの一般の利用者は敬遠・減少するのではないかと。	1	キッズパークをご利用いただく他の方の妨げにならないよう、関係者と調整を進めてまいります。	2	③
67	候補地だと言う場所も見したが、市の言う大型の施設を作った場合、駐輪場などはどうするのか。キッズパーク祭りの時などは、駐輪場が駐輪場になる。候補地内に大型施設を利用する人全体の駐輪場を作るスペースが持てるか。	1	キッズパーク祭りなど、多数の来場者が見込まれるイベントの際には、駐輪場の代替地が確保できるよう検討してまいります。	2	③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
(4) 施設整備予定地					
68	車が一杯で停めるところがなく、親が遅刻するのでは。	1	現在、公立保育所では、一番多い園で駐車場を4台確保している状況であり、統合園においては、その2倍にあたる8台分を確保できると見込んでおります。しかしながら、雨天時等の際には混雑が予想されることから、駐車場対応の職員配置の検討も含め、安全対策の充実に努めてまいります。	2	③
69	両保育所及び児童館は現在、敷地の外に駐車スペースと駐輪スペース、止められなかった場合の待機スペースがあるが、それを含まない保育所のみ土地面積を単純に2つ合わせた広さと同じ広さを強調されているが納得できない。	1	計画敷地に統合施設とすることで、共用部分が一つになることなどにより、敷地内に駐車スペースと駐輪スペースを確保できます。なお、両保育所を建替える場合は、敷地の内に駐車場や駐輪場を確保しなければならず、現在のような駐車場の利用はできなくなります。	2	④
70	保育所は、通いやすいことが大事であり、小学校と同様、地域に分散すべきである。小規模の保育所二つを大規模一つに統合し、安全性が焦点となっているが、今まで地域に分散されていた保育所が統合することで、通いやすさが損なわれてしまう。しかも、むつみは阪急に、芦原はJRに近く、市内でも特に利便性が高い保育所である。その利便性から、自宅近くの通勤路から外れた保育所よりも、遠方であっても車で当該保育所に送迎し、近くに駐車場を借り、駅まで徒歩で通勤という保護者もいるほどである。地図で見ると、移転先はそれほど離れていないように見えるのであろうが、実際徒歩で駅までいくとなると、信号も増え、15分は時間がかかることになる。幼児がいる家庭での往復30分プラスは、かなりのダメージである。今回の移転は、実際に送迎・出勤を経験していない方々の机上の空論としか思えない。また、一旦閉園してしまうと、再度の保育所建設は、周辺からの多くの理解が必要となるため、非常に難しくなる。現在の建築基準に沿った保育所を、現住所に建て替えるべきである。	1	現在、近くでご利用いただいている方々には、ご不便をおかけすることになりますが、今後本市の子育て支援の拠点となる施設の設置や保育の質の向上を考え、この統合施設案を提案したものです。送迎時間が変わることに伴い、改めて保育時間を設定にすることになります。通勤時間等でご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願いします。	2	④
71	非常に交通量の多い場所であり、子供が毎日通うのにふさわしい環境とは思えない。計画書では子供が誤って外に出ない等の対策を講じる説明があったが、保護者が送迎する保育所のことしか考えておらず、子供だけで児童館に通う際の安全性という視点がまったく欠如していると感じた。交通量だけでなく、すぐ隣に24時間営業のビリヤードやネット喫茶があり、子供へのいたづらや連れ去りのリスクが高い場所だと思う。騒がしい店舗、駐車場、犯罪を犯させるような死角がいっぱいある。以前市内のショッピングセンターで子供が裸にされ撮影される事件があったと聞いている。不特定多数の成人が日常的にたむろする場所のすぐ横の児童館など、怖くて行かせられないし、あの立地に平気で児童館を建ててしまおうという市役所職員の感覚が嫌でたまらない。役所の机の上図面だけ見て考えずに、6、7歳の幼女が歩いていて安全な場所か現地をもう一度見てほしい。	1	現在も児童厚生員からの子供達への声かけや、閉館時に見送りするなどを実施しております。今後も、安全対策については、学校や地域のご協力を得ながら、検討してまいりたいと考えております。	2	③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 1. 基本方針					
(4) 施設整備予定地					
72	新しく建てようとしている場所は県道、自動車修理工場に囲まれており、先日も子供とタクシーの衝突事故を目撃した危ない場所。深津小学校の通学路にもなっているのに、保育所を建てることにより、更に250名分の児童送迎が加わる。深津小学校の父兄の過半数が賛成したとは思えない。	1	保育所利用者の送迎のための自転車駐輪などによる交通渋滞を防ぐために、敷地内に駐車・駐輪場スペースを確保する予定で、特に歩道への自転車のはみ出しを防げると考えております。また、統合施設の周辺歩道について、現在よりも安全に通行していただけるよう、南側は歩道部分を3mとなるよう拡幅し、西側にも1.5m幅の公開空地を設けるとともに、南側道路の改良も行うなど、近隣住民の方にご理解いただける周辺道路の安全対策に努めてまいります。	2	③
73	山手幹線より北側で大きな面積の空き地や空きマンション地があるのに、なぜあえてこの場所なのか理解できない。8月に説明会をキャンセルし、合築案が浮上した後、あまり熟考せずに場所を選定した感が否めない。	1	当初の現地建替案では、様々な制限がかかるため、近隣の市有地からむつみ保育所・児童館の移転先を検討したものです。	2	④
74	なぜ、キッズパーク横なのか。この場所は、交通量も多く、8台程度の駐車台数では、はみ出した保護者の車とそれによって通行が妨害されたという市民の苦情が毎日のように市役所に届くことは火を見るよりも明らか。 今津西線とザビエル道路の交差する当該地は、関空行のリムジンバスが右左折する。ここに車を止められたら、バスの運行に支障が出て、抗議はさらに広がる。 神祇官町には800㎡の提供空地があり、隣接地にはさらに広い提供公園がある。ここに最初から芦原保育所として新設すれば、仮設園舎も必要なくコストも、その後の運用によるトラブルも最小限になる。むつみ保育所を先に建設するなら、ここを仮設園舎として使い、その後芦原保育所が入れば良い。この場所は行き止まりになっているから、園児の飛び出し等があっても、危険は極小になる。もちろん、この土地を使って、他の施設を作り、玉突的に対応する方法もあるだろうが、少なくとも、キッズパーク横に大規模園を建てるよりはまし。	1	敷地内に駐車スペースを8台分確保するだけでなく、統合施設の周辺歩道について、現在よりも安全に通行していただけるよう、南側は歩道部分を3mとなるよう拡幅し、西側にも1.5m幅の公開空地を設けるとともに、南側道路の改良も行う予定です。送迎時の対応につきましては、駐車場対応の職員配置の検討等、近隣とのトラブルのないように努めてまいります。	2	④
75	建設予定地は長年使われずに放置されていた土地で、おそらく、以前、食肉センターがあり、住宅地としては使えないからだと思われる。そのような土地が保育所の移転予定地になっていることに驚いた。現地で建替えるべき。	1	建設予定地は、本市全体の保育水準の向上を進めるために、諸条件を元を選択したものであります。なお、当該建設予定地は、食肉センター跡地ではありません。	2	④
■ 2. 統合施設として期待できること					
全般に関すること					
76	現地建替えの場合においても実現できることが多々あるのではないかと。障害児保育や児童館のバリアフリー化などは、現代においては、施設の建替え、新設時には、当然対応すべきものであり、特段、合築におけるメリットとすべきものではないと考える。	4	現地建替えが困難なため、移転新築することで児童館のバリアフリー化が行えたものです。また、特別保育、特に障害児保育の拡充につきましては、統合施設の規模と人員配置だからこそ可能と考えております。	3, 4	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 2. 統合施設として期待できること					
全般に関すること					
77	期待できることについて、また、保育所及び児童館の保護者から出された疑問や不安への対応策について、可能な限り具体的な目標を設定し、目標を達成するための方策やリスク等を検討したうえで、統合を進めてもらいたい。期待できることの目標を設定するにあたっては、理念と施策に分けて具体的に設定してもらいたい。また、統合後、結果の検証として、必ず保護者と意見交換する場を設け、対応についても検討し、改善を反映してもらいたい。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 特に、統合後の子供の安全や保育の検証につきましては、保護者と意見交換する場を設け、改善ができるよう努めてまいります。	3, 4	②
78	現在どちらの保育所にもない休養室や保護者相談室を作ると子供たちにとって広い保育室にならない。	1	休養室は障害児保育実施のため、保護者相談室はこれからの保育所の機能、果たすべき役割から必要となるために、市全体の保育の質向上を目指し、設置するものです。統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分の一つとなります。これらを広げたくうえで、延床面積を削減することができます。こういった建物のスケールメリットを活かして、休養室や保護者相談室の設置も可能となるもので、保育室の面積を狭くするものではありません。	3, 4	④
(1) 保育所					
79	乳児は少人数で過ごすことを大切にしているのに、保育の質など保障されるのか。	4	西宮市の公立保育所では、乳児期においては、できるだけ小さな集団で、きめ細かな援助ができるよう保育をしています。統合施設では子供の人数は増えますが、保育士は、現在と同じ、市の基準による配置となります。乳児の職員配置においても、一人の保育士が、保育をする子供の人数は、他の規模の保育所と変わることはありません。今までと同様の安全に留意した環境の中で、今までどおりの乳児保育を進めるとともに、クラスを分けることで、寝返りの時期の子供と歩きはじめた時期の子供が交じり合うことなく、安全に遊べる環境を作ることができると思います。	3	④
80	「クラス替えによって豊かな人間関係が構築される」とあるが、枠を外した保育をしているので、クラス編制により、色々な友達、保育士とのかかわりは、今現在も十分満たされていることであり、大規模にすることによってのメリットとは考えられない。1クラス25名程度できちんと関係を築いたうえで小学校に入ってクラス替えがある環境になれば十分と思う。	4	大規模保育所においては、複数クラスを作ることが可能となります。クラス替えによる人間関係の広がりもありますが、乳児保育では、クラスを分けることで、寝返りの時期の子供と歩きはじめた時期の子供が交じり合うことなく、安全に遊べる環境を作ることができます。また、興味をひく遊びの内容が異なる子供たちが、成長の過程に応じた遊びをクラスの中で構成することができます。幼児クラスでは、担当する保育士の数が多くなるので、保育士が子供たちに同時に提供できる遊びの種類が増え、子供の多様な活動の場を作ることが可能となります。保育士にとっては、担当する保育士がより多くなることで、相互に相談や助け合いながら、より多面的に子供を見ることが可能になるなどが統合園のメリットと考えております。	3	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 2. 統合施設として期待できること					
(1) 保育所					
81	人数が多ければ、関わりも増え、豊かな人間関係を築けるという考えが間違っている。小さくても温かみがある関係をじっくりと築いていける西宮の保育所が子供たちの未来のために必要である。	3	新しい保育所においては、各年齢複数クラスを予定しており、これまでどおりの基準で職員配置を行います。乳児においては、これまでどおりの少人数保育となり、幼児クラスにおいては、違うクラスの同じ年齢の子供同士の関わりも多くなり、小学校へ就学した後でも、とまどうことなく、交友関係を広げていくことにも繋がっていくことと考えます。大規模園では、様々な友達と関わる中で、友達の思いを知り、関わり方を学ぶなどの育ちの保障がより行いやすいことから、そのメリットを活かした保育を行っていくよう努めてまいります。	3	④
82	小学校のクラス編成、人数を考慮した保育園の設置が望ましい。	1	新しい保育所においては、各年齢複数クラスを予定しており、これまでどおりの基準で職員配置を行います。乳児においては、これまでどおりの少人数保育となり、幼児クラスにおいては、違うクラスの同じ年齢の子供同士の関わりも多くなり、小学校へ就学した後でも、とまどうことなく、交友関係を広げていくことにも繋がっていくことと考えます。大規模園では、様々な友達と関わる中で、友達の思いを知り、関わり方を学ぶなどの育ちの保障がより行いやすいことから、そのメリットを活かした保育を行っていくよう努めてまいります。	3	③
83	多様化する保育ニーズに応えるため、「病児保育」への対応を素案に明記することを求める。	1	統合施設では病児保育は困難と考えております。ただし、本市の病児保育施設数は、現在市内に1ヶ所で、今後拡充していく必要性については認識しております。病児保育の実施にあたっては、医療機関との連携が欠かせないことから、実施する場所等については、慎重に検討してまいります。	3	④
84	ゆとりあるスペースを活かして新しい設備や子供の動線を考えた部屋を配置することができるがあるが、統合しなくてもどちらかの保育所を大きくすればできることである。210名の保育所としてあの予定地ではゆとりあるスペースはできない。	1	統合施設とすることで、入り口や廊下、階段など建物の共用部分の一つとなります。これらを広げたくうえで、延床面積を削減することができます。	3	④
85	一時預かりや休日保育は、むつみ・芦原の児童だけが利用するのか。保育室には子供たちの衣服等の私物があり、名前の掲示等もある。他の園の児童も利用するのであれば、普段使っている保育室と別にしてほしい。	1	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 休日保育などの利用は、統合施設の保育所の児童だけが利用するものではありません。ご意見も参考にしながら、施設の設計を進めてまいります。	3	②
86	基本方針概要の4.に記載されている統合施設として期待できることを実現するには、保育園の定員を減らし、特別保育や近隣子育て支援施設の連携に重きを置くべき。どうしても210名にしなければならぬならば、保育所以外の多機能化の部分はこの施設規模では不可能。	1	現在、保育所の入所ニーズが高いなかでは、保育所の定員を減らすことは困難と考えます。特別保育の実施には、一定規模の保育士数が必要と考えております。また、多機能化の部分は、将来、保育の必要な児童数に減少傾向が生じた際に、余剰スペースを活かし部屋の区切りを変更するなどして実施できるものも含んでおり、これは施設規模が大きいからこそできることと考えます。	3	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 2. 統合施設として期待できること					
(1) 保育所					
87	乳児は特に愛着が大切であり、保育士と愛着関係を作り、そこから他の関係を結んでいく。0才から1才へのクラスが上がる時でさえ愛着関係のある保育士と別れる事で、毎日泣いて登所したりするのに、月齢によってクラス編成されると「〇ヶ月になったからこっちのクラス」といわれると、子供たちは落ち着いた環境で過ごすことはできない。新しい保育士と愛着関係を築くまでとても不安定になる。この事について不勉強である。	1	乳児にとって愛着関係の構築と情緒の安定を図ることが大切であることを認識しております。そのため、クラスは今まで同様に年度ごとのクラス編成を基本として保育士との関係を作っていきます。何ヶ月になり年度の途中でクラスを変わるということではございません。	3	④
(2) 児童館					
88	エレベーターやトイレ等のバリアフリー化も210名統合でなくてもできる。統合に期待できることとしてあげるのはおかしい。	1	「統合施設として期待できること」は、今回の素案にある「むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設」として期待できることです。なお、芦原保育所については、耐震改修のみの予定であったため、統合施設とすることでバリアフリー化を図れるものです。	3	④
89	今現在もむつみ保育所、児童館で交流を行っている。統合に期待できることとしてあげるのはおかしい。	1	新しい保育所では、他市の先行例において実施している副所長の複数配置を検討するなど、スタッフを充実させることにより、子育て相談の内容の多様化や回数を増やすことが可能となります。また、児童館の施設面積も増加することにより交流回数を増やすことやフリースペースを活用した交流も提供できるものと考えます。	3	④
90	新しくなり、来館者も多くなるなか、職員の資質も問われる。	1	今後も研修等の充実をはかり、職員の資質の向上に努めてまいります。	3	③
(3) 近接する子育て支援施設との連携					
91	キッズパークとの連携も今現在田植え等行っているのので、ここであげるのはおかしい。子育て総合センターやこども未来センターとの連携についても210名定員の保育所にしなくてもできるはずである。	1	隣接することで現在よりも行事の回数や種類を増やすことが可能となります。今後は一層の連携に向けて、関係機関と協議していきます。 「西宮市立子育て総合センター」及び「西宮市立こども未来センター」との連携につきましては、その立地的なメリットを活かし、連携のモデル園として、他園と「西宮市立子育て総合センター」及び「西宮市立こども未来センター」との効果的な連携を検討、提示していきます。なお、障害児保育の充実におきましては、こども未来センターと連携を常に行える立地と、施設としての一定の規模の両方が必要と考えます。	4	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■ 2. 統合施設として期待できること					
(3) 近接する子育て支援施設との連携					
92	<p>素案の2. 統合施設として期待できることの(3) 近接する子育て支援施設との連携に「今回の統合施設建設に伴い、現在、暫定利用となっている『みやっこキッズパーク』を恒久利用することといたします。」となっている。</p> <p>一方、第4次西宮市総合計画中間改定によれば、「JR西宮駅北側の旧国鉄用地、旧食肉センター用地及び芦原小学校跡地を活用し、全市的観点からの施設に向けた取り組みを進めます」とあり、これは「各論(50施策)の見直しは所管する常任委員会において報告し、意見をいただきながら取り組んできました。」となっている。これら3つの用地活用が全市的観点からの施設となっていくことに何の異論もない。そのことが芦原地域を発展させることにも繋がると思う。それだけに、「現在、暫定利用となっている『みやっこキッズパーク』を恒久利用することといたします。」との方針が、総合計画に沿った所管の市議会の常任委員会論議をふまえた上でのものかどうか疑問。</p> <p>今回の方針が、前述の3つの用地活用方針の一環として位置づけられているのであれば、是非そのことを地元住民にも説明すべきである。</p> <p>そうした説明の努力こそが、西宮市人権教育・啓発に関する基本計画の第3章重点課題への対応第5節同和問題にある「地域住民の生活・文化や自立意識の向上および、住民がさらにまちづくりを担うよう支援」する方策であると考える。</p>	1	<p>平成15年11月に子育て総合センターの屋外活動施設としてスタートした「みやっこキッズパーク(以下、「キッズパーク」とします。)」は、5年間の暫定利用期間終了後も地域団体等による運営協議会との協働のもと期間を延長して供用し、現在では年間25,000人以上の来場者を数える子育て支援の屋外拠点施設として、多くの利用者に親しまれています。</p> <p>この間、市議会においても当該施設の恒久化について議論がなされてきましたが、「平成27年度西宮市施政方針」では、子供のための施設整備の方針において、このたびの統合施設とキッズパークの一体的運用による高機能化とあわせ、全市的観点からも、これらの施設と子育て総合センターやこども未来センター、母子生活支援施設との連携による総合的な子育て支援の拠点ゾーンの形成を掲げています。</p> <p>このように、キッズパークの恒久化に関しては、10年以上にわたるこれまでの運営実績と議会における議論を踏まえたものであり、子育て支援の環境整備を進める市の方針にも合致したものです。</p> <p>こうした市の基本方針については、先般、若竹生活文化会館で実施しました「市政報告・広聴会」において市長自ら地域の皆さんへ直接ご説明をし、また、今回の統合施設整備に関するパブリックコメント手続きにおいても、キッズパークの恒久化をお示ししたうえで意見を募集しておりますが、今後とも様々な機会を捉えて、地域の皆さんへの丁寧な説明に努めてまいります。</p>	4	④
■ 計画全般に関すること					
93	保育士にも負担が大きく、保育事故が起こるのではないかと不安。	217	市としても、安心で安全な保育を行うための環境づくりが最優先課題であると認識しております。子供の人数は増えますが、現在と同じ、市の基準による配置となりますので、一人の保育士が保育ををする子供の人数は、他の規模の保育所と変わることはありません。また、子供の数に見合った保育室の広さを確保するばかりでなく、保育室全体を見通せる棚や机等の配置を行い保育のしやすい環境整備に努め、保育士の意見も参考にして、設計や設備等について検討してまいります。		③
94	耐震化を早急に行ってほしい。毎日が不安。	124	芦原保育所については、むつみ保育所・児童館に実施したのと同様の耐震性向上のための工事を行います。		③
95	少人数ずつの丁寧な、一人ひとりの心に寄り添った保育を西宮市は目指しているはずなのに、それができるのか疑問。	98	乳児保育では、子供の成長過程に応じたクラス分けを行うことにより、一人ひとりの子供の発達段階や心理状況等を丁寧にみていくことが可能となります。また幼児保育においては、多様な活動の場を提供したり、クラス替えにより、関わる子供の数を増やすなど、成長に合わせた保育を行ってまいります。		③
96	大規模な施設、多数の児童では目の行き届かないところが多くなり危険。	45	現場の意見を取り入れ、安全な保育が行えるよう設計してまいります。		③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
97	西宮市は、子育ての町として、多少の手間やコストがかかっても、子供の安全・安心を最優先とするべき。	43	本市では、これまでも「子育てするなら西宮」のスローガンのもと、子供の安全・安心な街づくりに向け、子育てや子育てに関する様々な施策を実施してまいりました。平成27年度予算では、子供にかかる政策にこれまで以上に重きを置き、歳入では3歳未満児の保育料について今年度から引き下げを行うなど保護者負担を軽減する一方で、歳出でも児童福祉費全体で前年度比26億6,600万円、11.3%の増の予算を編成し、子育て環境の充実を図っております。この計画では、整備予定地の広い敷地を活かして統合施設を整備することで、財政負担を過度にあげることなく、これまで本市で着手できていなかった特別保育に取り組み、市全体の保育体制の充実を図ることができると考えております。		③
98	施設整備について別の手法を提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・整備予定地にはむつみ児童館部分だけを建設し、各保育所は現地建替えとする。 ・整備予定地に芦原保育所と児童館の複合施設を建設し、むつみ保育所のみ現地建替えとする。 ・上記において、複合施設をむつみ保育所の仮設園舎に利用する。 ・待機児童対策のために、整備予定地、現むつみ、芦原所在地の3箇所に保育所を新設・建替えする。 ・待機児童対策のために、移転後の現むつみ・芦原保育所跡地については、売却し、私立保育園を整備する。 ・敷地内に100人規模の保育所を2棟建設する。 ・現地建替えに限らないが、保育所は2箇所に分ける。 ・プレラと若竹生活文化会館の機能を統合し、若竹生活文化会館を児童館にする。芦原保育所とむつみ保育所は現地建替えとする。 ・児童館のみ現地建替えとし、整備予定地には2階建ての統合保育所を建設する。 ・整備予定地に1つ新しく今の定員の建物を建て、むつみか芦原のどちらかは現地建替えとする。空いた方の土地を売却して子供のために使う。児童館はどちらかに設ける。 	25	この計画では、整備予定地の広い敷地を活かして、現在のむつみ・芦原両保育所の総定員に匹敵する定員となる統合保育所を整備することで、公立保育所として求められる休日保育や障害のある児童に対する支援など特別保育を充実させ、セーフティネットとしての機能強化を図り、併設する児童館とともに市内の拠点的保育施設として機能することで、市全体の保育体制の充実を図れるものと考えております。懸案であった耐震化が図れる点や、仮設園舎整備を必要としない点、さらには、跡地の有効活用の点等においても、市としては、現在の統合整備計画案が適切であると考えております。		④
99	保育士の連携、共通理解をしたうえでの保育はできるのか。	25	他市の大規模園で実施している乳児・幼児のブロック制など連携上の工夫を検討したり、現在も行っている連携のやり方を徹底することで、保育士の連携、共通理解を図り、安心安全な保育ができるように努めてまいります。		③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
100	<p>もっと市民や保護者、保育の現場で働く人たちの意見を聞き、関係する全ての人にきちんと説明するべき。保護者、保育士を無視した状態で合築ありきで計画を進めないでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に事前に説明もないままに、いきなり決定したという内容でプリントが配られたことに驚いた。保護者や保育士の意見を聞かず、保育所に関わっていない方の都合で、大規模保育所にするのは、予算を削減する以外の理由が見つからず不信感しかない。初めの段階で説明責任も果たさず、計画だけどんどん進めていって子供達は安全に新しく合築した保育所で過ごせるというのは信用できない。現場の意見すら聞けない大人に、大切な子供を保育する保育所を作ることができるのか疑問。子供を犠牲にしないでほしい。 ・保育所保護者との説明会の回答さえできていない状況でパブリックコメントを実施した意味が不明。子供たち、保護者、保育士を無視した状態で計画を進めないでほしい。 ・大規模保育園を視察して落ち着いた雰囲気保育されていた、などと肯定的なコメントをしていたが、視察のタイミングが1回目の説明会を開催し、合築を発表した後だというのが信じがたい。すべては合築ありきで、その後保護者を納得させるためにやっているように映って仕方がない。 ・一番不安なのは2園を合築した方が、予算が安くあがるから、合築しようかとお金のためだけで方針を決めていないかと言うことだ。説明会で聞いても2園を合築して250名となった後の安全性等についての質問に対してもきちんとした返答をいただけなかった。 ・現在、保護者も、保育士も賛成は少数。その中で進め、事故が起きた際、誰が許せるのか。これまで開かれた説明会では、誠意が感じられず、納得いくものではない。統合中止をすべき。 ・昨年8月に建替えの説明会の案内があった際に保育士の方にその件を聞くと何も聞かされていないので分からないといわれた。なぜ、事前に該当の園で働く方に事前の聞き取り等がなかったのか理解できないし、物事を進めるうえでの順序がおかしいのではないかと思う。 ・答えが統合して210名になる理由になっていない。具体的な設計図や面積等が出ていないパブリックコメントに意味あるのか理解できない。210名になる統合合築はやめるべきである。 ・保育所保護者との説明会の回答さえできていない状況でパブリックコメントの実施した意味が不明。子供たち、保護者、保育士を無視した状態で計画を進めないでほしい。 	24	<p>市はまず現地建替えを検討いたしましたが、現地建替えを断念した経緯につきましては、後述いたします意見番号110の市の考え方のおりです。計画を見直すにあたっては、昨今、保育所の騒音などについて近隣住民からの反対が多く見受けられることから、住宅地に近接しておらず、むつみ保育所・むつみ児童館に近く現在の敷地よりも広い市有地として、今回の整備予定地が適切であると判断いたしました。保育所事業課が西宮市の200名近い民間保育所に保育指導に入ることもあって、統合園の定員は2園の合計の210人とすることが可能と想定しましたが、公立保育所で実際にその規模で運営されている園の状況を確認するため、他市への視察を行い、その中で、留意すべき事項やメリットについての検証を行いました。</p> <p>また、園舎は50年から60年の耐用年数となりますが、本市における就学前児童数は減少傾向にあることから、施設の設計にあたっては、将来的な保育ニーズも踏まえて検討する必要があります。移転先が現在の場所に決定した後、芦原保育所の耐震化も含めて検討する中で、長期利用と多機能化の観点から統合のプランを検討し、統合を決定したものです。</p> <p>施設の設計については、まず、施設のおおまかな設計を行い、施設自体の位置や出入り口の位置、部屋の配置等の案を決定いたします。そのプランには、それまでに保護者説明会やパブリックコメントでいただいた意見や保育の現場で働いている方からの提案や要望をできる限り反映させたものにしたいと考えております。また、その後、プランをご覧になってからいただく意見もできる限り次の段階の詳細設計に反映していきたいと考えています。</p> <p>パブリックコメントは、現在対象の保育所に通園している保護者だけでなく、市の大規模な事業に対して市民の方から広くご意見をいただくもので、当該保育所へ通われている保護者の方からのご意見については、これまで9回開催してきました保護者説明会を今後も設けご意見などを頂戴したいと考えております。</p> <p>なお、平成30年4月には耐震化が完了した安全な施設で保育を提供するため、今回のパブリックコメント実施も含め、事業スケジュールの変更は困難な状況にありますが、今後も、関係者の方々のご意見をお聞きし、また、丁寧な説明に努めてまいります。</p>		③
101	<p>大人数の児童を対象にしたアレルギー対策や細やかで丁寧な対応ができるか不安。</p>	24	<p>「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」にもとづき、安全な対応をしていきます。</p>		③
102	<p>子供たち、保護者、そこで働く保育士、地域にとって安全かつ安心をもたらす方針であるか、再検討を望む。</p>	20	<p>この計画では、整備予定地の広い敷地を活かして統合施設を整備することで、財政負担を過度にあげることなく、これまで本市で着手できていなかった特別保育に取り組み、市全体の保育体制の充実を図れると考えております。</p>		④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
103	統合せず、両園とも現地建替えてほしい。	19	当初は、現地で芦原保育所の耐震化、むつみ保育所の建替えの予定でしたが、むつみ保育所・児童館については、現在の建築基準法には適合しない建物であるため、現地で建て替えると、現敷地から道路の幅員拡幅部分や駐車場用地を確保する必要があることや、現在の3階建てを2階建てに変更しなければならず、園庭もかなり狭くなるなど、現在の機能・規模を維持することが困難となるため、現在の計画に変更となっております。両園とも現地建て替えというのは、市の財政的負担も高いうえ、本市における就学前児童数は減少傾向にあることから、将来的な保育ニーズに合致しないものです。		④
104	大規模園にはメリットはないと思う。	17	0～5歳児単クラスでの友達関係の固定化ではなく、複数クラスになることでの子供同士のかかわりが広がり、多様な人との関わりが期待できます。また、保育士も多くなるので、それぞれの保育の良さを取り入れ、柔軟な保育内容を考えていくことができます。		④
105	この園は、働く保育士も保護者も不安だと思う。	14	皆様のご意見を取り入れた保育所を作ってまいります。		③
106	統合するメリットが感じられない、また、情報も少ないのに統合ありきで話を進めるのはどうか。	12	統合は市の方針であり、その中でより良い施設となるようにご意見を多分にお聞きしながら設計を進めてまいります。		③
107	園庭やプールを利用できる時間が少なくなる。プールは30分くらいで入ったらすぐに出ないと眠れない。運動量が少なくお昼寝時間に眠れない。	10	現在の計画では、子供一人あたりの園庭の面積は、既存園と同程度を確保できる予定です。またプールは2箇所設置することを検討しており、今までと同様の遊びの時間やスペースで過ごすことができます。今後も戸外遊びの時間や水遊び等大切に取り入れるようにしてまいります。		④
108	大人数と少人数でどちらが避難しやすいかは明白。安全第一に考えてほしい。	10	施設設計として、複数の避難経路を確保し、廊下等の幅を広くするなど、よりスムーズな避難を可能とするのはもちろんのこと、マニュアルの策定、避難訓練を実施し、その都度課題を挙げ対応できるようにしてまいります。		③
109	保育士と保護者とのコミュニケーションがとりづらくなり、信頼関係を築けなくなる。	10	子供の人数は増えますが、現在と同じ市の基準による職員配置となり、クラス担任の配置なども従来と変わるものではございません。また他市の先例保育所においては、副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部のブロックごとの保育、時差勤務体制など子供や保護者の方の把握をしやすい工夫もなされておりました。これらも参考にし、保護者の方に安心していただける保育体制を作れるようにしてまいります。		③
110	現在の場所のままの芦原保育所の耐震化、むつみ保育所の建替えを行うべき。	9	当初はその予定でしたが、むつみ保育所・児童館については、現在の建築基準法には適合しない建物であるため、現地で建て替えると、現敷地から道路の幅員拡幅部分や駐車場用地を確保する必要があることや、現在の3階建てを2階建てに変更しなければならず、園庭もかなり狭くなるなど、現在の機能・規模を維持することが困難となるため、現在の計画に変更となっております。		④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
111	コミュニケーションがとれるむつみ児童館が今の場所にあることが大事。児童館のおかげで、平木地域のボランティアの方に声をかけてもらえて、地域の方々に支えられて子育てができています。各校区に児童館があるのが本来の姿、後退させるのはおかしい。むつみ保育所ともどもむつみ児童館をなくさないでほしい。児童館の面積が広くなると聞いたが、目の届かない場所が増えるのではないか。	9	現在のむつみ児童館にも、広田小・深津小・高木小・安井小などから来館しています。現地で建替えとなると非常に制約が多くなり、様々な機能を落とすことにつながります。子供達にとってよりよい児童館となるよう移転合築を計画しています。新しい児童館では、1フロアで目の届きやすい設計にしていきます。なお、現在、児童館は、市内に9館しかなく、校区を越えて利用しているのが現状です。そのため児童館をよりよいものにしていき利用していただけるように計画していきたいと考えています。		③
112	子供の人数が増えるが、保育士の数も増えるし、園庭も増えるから問題ないという考え方は間違っている。保育士は自分のクラスの子供だけを保育するのではなく、早出遅出勤務はもちろん、異年齢保育は日常的に行われており、子供一人ひとり、保護者（母、父、姉、兄、祖父母、義理姉兄まで）一人ひとりを210人分全職員がアレルギー、家庭環境、障害の有無等把握できるとはとても思えない。中途半端な保育をするということは、「保育をする」という大前提である「命を守る、大切な子供を預かる」という考えに背く。新設場所では一人あたりの園庭面積も減ることもあり、これまでどおりの保育は不可能。	9	これまでどおりの保育ができるように、普段の保育を十分保障した上での子育て支援策として、副保育所長の複数配置や幼児部乳児部のブロックごとの勤務の体制など、保育に必要な情報を共有しやすい体制を、職員の意見も聞き、検討してまいります。園庭につきましては、子供一人あたりの面積は現在の芦原保育所程度になる予定で、利用については、時間差で利用するなど、これまで同様の時間を確保できるように努めてまいります。また、一人ひとりが落ち着いて遊ぶことができる子供の発達に応じた保育の空間・遊具の整備をしてまいります。		④
113	クラスごとの一斉保育はできても、現在西宮市が行っている年齢枠を外したオープン保育は実施できないのではないか。	7	西宮市では、これまで、子供の発達過程に合わせた保育を進め、ブロックごとに保育士が連携しながら保育をしています。市内のどの公立保育所においても、乳児部においては、クラスごとに担当が役割を分担し、クラスの子供の保育を進めています。また幼児部も、3・4・5歳の担当が、一人ひとりの役割を果たしながら連携し合って保育をしています。新しい統合施設においては、たとえ規模が大きくなって、一人の保育士が大勢の子供を保育するのではなく、今までと同様に、子供の数に見合った保育士が、子供の発達に応じて、それぞれの担当としての役割を果たしながら保育をしていくことには変わりはありません。また、年齢枠を外したオープン保育は幼児部で実施しているものですが、3・4・5歳1クラスずつのグループを2つに分けて行うなど、定員規模に応じた手法を講じてまいります。		③
114	資料にデメリットが記載されていないのはおかしいのではないか。	7	ご意見を踏まえ、一部修正しました。 デメリットとしては、大規模になることで、子供の総数が増えることにあわせ保育士も増えるため、保育士間で情報共有を徹底し、共通理解を深めるための工夫が必要となってまいります。現在、各保育所で実施している全体での職員会議や担当者会議をはじめ、朝礼による日々の確認、記録物の回覧や掲示等文書による周知などについては、統合施設においても、同様に進めてまいります。200名規模の保育が行われている先例保育所においては、先ほど申し上げたデメリット部分を解消するため、副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部といったブロックごとの保育体制、及び時差勤務体制など運営上の様々な工夫がなされており、新しい統合園の運営にあたっては、これらの事例も参考にしながら、クラスやブロックの打ち合わせなど、共に保育をしていくメンバー間での周知や共有を重視し、安全で安心な保育体制の構築に努めてまいります。		②

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
115	死亡事故が他市の大規模園であったと聞いた。どう考えているのか。検証はしたのか。	7	保育所で発生する事故について、大規模園であることで事故が発生したという報告は特にありません。子供の命を守り、安全に保育することは最も大切であると認識しております。重大な事故事例も把握し、今後も安全管理に努めてまいります。		③
116	合築とせずに、それぞれの園で耐震化工事をした方が、費用を抑えられるのでは。	6	費用は抑えられますが、むつみ保育所・児童館、芦原保育所ともに建物としての寿命は伸びません。今回の統合施設整備事業の実施は、50～60年スパンのファシリティマネジメントの観点からの判断でもあります。		④
117	運動会や遠足などの行事が大変ではないか。	5	安心安全に行える規模や内容を考え、楽しい体験となるよう工夫いたします。		③
118	感染症、病気対策はどうするのか。	5	保健衛生のマニュアルに沿って、感染拡大防止のため感染源、感染経路などへの対策にしっかり取り組んでまいります。		③
119	待機児童の問題は解消されていない。保育施設を減らすべきではない。	5	「西宮市幼児期の教育・保育審議会」などでご議論いただき答申をいただいておりますが、今後、保育需要の動向も踏まえて適正な配置を検討してまいります。		④
120	西宮市は平成7年に阪神・淡路大震災を経験しているのに災害特に地震について考えが甘い。複数の避難経路を確保しスムーズな避難が可能と書かれているが、もし災害が起きたとき本当に子供達一人ひとりの命は安全に確保されるのか。送迎時間帯に避難となった際、正確な人数把握ができるのか。児童館も統合されそこに通う子供達もいる。子供も大人も人数が多くなるとそれだけ逃げ遅れる等のリスクが高くなる。	5	施設設計として、複数の避難経路を確保し、廊下等の幅を広くするなど、よりスムーズな避難を可能とするのはもちろんのこと、様々な災害を想定し、マニュアルの策定、避難訓練を実施し、その都度課題を挙げ対応できるようにしてまいります。なお、現在も、早朝保育や居残り保育の間も児童名簿でチェックしながら児童数把握に努めております。		③
121	保育士の数は足りるのか、十分に確保できるのか。	4	本市の基準に準じ、子供の人数に合わせて適正に保育士を配置してまいります。		①
122	児童館は別の近い場所に建設すればいい。	3	子育て相談等、児童館を併設することでのメリットもあり、今回の計画とすることで仮設に移動せず保育を行うことができ、子供の負担を軽減できると考えます。		④
123	保育所で今まで積み上げてきたものが、次の世代の保育士に伝えていくことが難しいと思う。また、保育士自身が今まで培ってきた力も活かせると思えない。ただの経費削減、合理的に進めようとしているだけの素案に思える。この計画を強引に推し進めて、市民サービスの質を低下させていくのなら、西宮市役所の存在意義はあるのか。	3	次の世代へ保育を継承していくことはもちろん、さらなる質の向上をもとめて、保育のあり方を常に見直していくことが必要と考えます。このたびの計画は、単に統合施設とするだけでなく、これまで本市が取り組めていなかった公立保育所の役割を担うものです。これらを検討していく中で、安全・安心な保育を行ってまいります。		④
124	問題が起きたとき、市長は責任を負えるのか。今でも渋滞で近隣の方々はうんざりしているのに、保育所へのクレームは誰が責任を持って解決できるのか。多額の税金を使った事業にしては安易過ぎる。	3	保育所については、こども支援局が担当部局となります。市として、今後も安全な保育ができるよう、職員一丸となり全力で取り組んでまいります。		④
125	各施設の跡地の処分方法、活用方法が明記されていないがどうするつもりなのか。	2	市では、現在保有している土地や建物全体について、その有効活用と整理を行っております。整理するにあたっては、原則は売却としながら、個々の地域特性等も勘案しながら慎重に検討しているところであります。今回の統合園整備に伴い、跡地活用が可能となる現むつみ・芦原保育所敷地についても、同様に、全市的な観点から、今後活用方法を検討してまいります。		④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
126	安全第一なので、子供たちの命を預かっている保育士がしっかり見ることができる環境づくりと、保育士へのケアをしっかりしてほしい。	2	施設及び保育内容について子供の安全を第一に考えてまいります。現在保育所長をはじめ、保育士等の意見も集約するところです。さらに、保護者や様々な方のご意見をお聞きしながらよりよい保育を進めてまいります。		③
127	所長、副所長の責任範囲が大きくなるのではないかと。	2	所長事務を補佐する事務職員や保育内容に責任を持ち保育指導にあたる副所長の複数配置を検討するなど、行き届いた保育ができるよう努めてまいります。		③
128	保育所の拠点はいるのか。意味も不明。統合しなくてもできる内容ではないかと。	2	地域の子育て支援など、保育所に求められる役割は、益々大きくかつ多様化しており、将来的な保育ニーズも踏まえ、拠点的な保育施設が必要であると考えております。		④
129	むつみ保育所は、津波時には、園庭で人数が確認できてから児童館へ避難→平木小へ避難となっている。人数確認は大人でも90名と210名では同じ時間ではできない。まして子供である。210名になって大災害が起きて尊い命が奪われた時、想定外とは言わせない。私たちはこうやって210名になる危険性を何度も訴えている。	2	統合施設では、避難場所は総合教育センター中央体育館分館になると想定しますが、避難経路、避難の方法、人数確認の手順など子供がスムーズに避難ができるよう考えていきます。今後も子供の安全を第一にまいります。		③
130	コールマン報告にあるように100名以下（それに近い数）で保育するべきである。	2	特別保育や様々な子育て支援の実施は小規模では困難です。保育所は学校のような学習の場ではなく、生活と遊びを通して生きる力の基礎を培うことを目的としています。従いまして、全体としては大規模であっても、小さな集団での活動（生活）を主として行えるような保育体制を作っております。		④
131	WHOは世界各地から「学校規模と教育効果」の研究し「基準は100名以下」としている。それにもかかわらず大規模化するのなぜか。理由を明確にしてほしい。	1	特別保育や様々な子育て支援の実施は小規模では困難です。保育所は学校のような学習の場ではなく、生活と遊びを通して生きる力の基礎を培うことを目的としています。従いまして、全体としては大規模であっても、小さな集団での活動（生活）を主として行えるような保育体制を作っております。		④
132	むつみ児童館については、校区が変わることを避けるのであれば、平木小の空き教室等使用するなどの対策は検討したか。	1	児童館は、校区制でなく現在も校区を越えて利用していただいておりますので、空き教室等の使用は検討しておりません。		④
133	現在のむつみ児童館の場所はどうか。児童館のおかげで、平木地域のボランティアの方に声をかけてもらえて、地域の方々に支えられて子育てができています。その交流の場がなくなるのは不安である。	1	平木地区で行っている地域サロンについては現在むつみ児童館で実施していますが、移転後も別の場所で地域サロンが継続できるように地域の方々と協議していきます。		③
134	むつみ児童館は保護者が付き添う利用者ばかりではなく小中学生の利用人数が市内でも突出して高い。移転先は平木地区の子供達には校区外になる。移転後の子供達への対策も説明するべきである。	1	小中学生の利用人数については、市内の平均的な人数となっています。むつみ児童館には、平木小・深津小・高木小・安井小などから子供達が来館しています。現在も児童厚生員からの子供達への声かけや、閉館時に見送りするなどを実施しており、今後も安全対策については十分に呼びかけてまいります。		③
135	請願を出しても何ら変わらない市の姿勢に怒りを感じている。	1	丁寧な説明を求める請願の趣旨に基づき、今後ご理解をいただけるよう説明会の開催などに努めてまいります。また、芦原保育所の簡易耐震化につきましては、調査の結果、可能であり、耐震性能が向上することが確認できましたので、実施することといたします。		④

意見番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	分類番号
■計画全般に関すること					
136	子供の数が減るという理由だけでなく、地域の声を良く聞いて計画を進めてほしい。	1	新しい統合保育所は、市全体の保育の質を高める拠点的な位置づけとしております。保護者説明会などを通じ今後も十分に地域のご要望をお聞きしてまいります。		③
137	想定問答のQ&Aで予め問題点が網羅されているように思われる。	1	より良い計画となるよう努めてまいります。		①
138	Q&AについてQ1 駐車場駐輪場を充分確保すると、園庭がより一層狭くなる。もともと交通量が多いのでより渋滞になる。A1の内容では安全対策ができていない。すでに近隣企業とベビーカーがもめた場所であるのに210名の送迎は無理。	1	統合施設とすることで、共用部分の一つとなります。これらを広げたいと、現在の芦原保育所程度の一人あたりの園庭を確保できる見込みです。 敷地内には8台分確保する予定で、駐輪場についても、朝の保育所の登園時には、児童館の駐輪場も有効活用することで、歩道への自転車のはみ出しや、周辺の交通渋滞緩和に効果があるものと考えております。また、統合施設の周辺歩道について、現在よりも安全に通行していただけるよう、南側は歩道部分を3mになるよう拡幅し、西側にも1.5m幅の公開空地を設けるとともに、南側道路の改良も行う予定です。送迎時の対応につきましては、駐車場対応の職員配置を検討するなど、近隣とのトラブルのないように努めてまいります。		④
139	規模（人数、施設内容など）の面で計画対象の土地面積では足りず理想を実現できないばかりか安全が確保できない。むつみ・芦原保育所の土地の利用、または、アサヒビール工場跡地の利用を含めた計画の見直しを要求する。	1	統合施設とすることで、共用部分の一つとなります。これらを広げたいと、延床面積を削減することができます。 敷地内に駐車スペース及び駐輪場を確保し、特に朝の保育所の登園時には、児童館の駐輪場も有効活用することで、歩道への自転車のはみ出しや、周辺の交通渋滞緩和に効果があるものと考えております。また、統合施設の周辺歩道について、歩道部分の拡幅や南側道路の改良も行う予定としております。 なお、現在のむつみ保育所・むつみ児童館、芦原保育所の立地を踏まえて整備予定地を選定しております。		④
140	西宮市が取り組んでいる「子供が主体的に遊べる環境」を作り、次世代育成行動計画で取り組んでいる「年齢枠を外した保育」をすることは不可能。	1	年齢枠を外した保育は幼児部で実施しているものですが、3・4・5歳1クラスずつのグループを2つに分けて行うなど、定員規模に応じた手法を講じることは可能と考えます。		④
141	避難について避難通路を複数作る事や幅を広くする事で時間短縮できるとあるがそれは戸外にできるまでの時間短縮であり、戸外に出てしまったからのことについては何も説明されていない。	1	避難場所と考える総合教育センター中央体育館分館に、安全に避難できるように様々なことを想定し、避難訓練等も実施してまいります。		③
142	シャワーの広さ、プールの広さはどのように考えているか。人数が倍になると、シャワーやプールなどが午前中の食事前に終わらず、午睡に影響が出る。	1	プールについては、組み立て式のを複数設置するかたちといたします。シャワーは人数に応じた数を用意いたします。他市の大規模園においても、人数に応じた適正な数の配置や時間をずらす等の工夫をしており、そのような事例を参考にしながら設計に反映してまいります。		③
143	今のむつみ保育所は駐車場もあり大変助かっているが、なぜ現行地での継続はされないのか。予算だけの問題か。	1	むつみ保育所・児童館については、現在の建築基準法には適合しない建物であるため、現地で建て替えると、道路を拡幅する用地が敷地から削られ、また、駐車場も敷地内に確保する必要があり、保育に使用可能な敷地が大幅に狭くなります。また園舎も現在の3階建てを2階建てに変更しなければならず、園庭もかなり狭くなるなど、現在の機能・規模を維持することが困難となるからです。		④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
144	他の自治体が、エキナカ保育所を検討している中、阪急西北、JR西宮という、市内の主要駅の近くに保育所がないとなると、時代に逆行しており、子育てしやすい西宮といえなくなる。	1	駅ナカ保育所は、鉄道事業者が実施していることが多く、他の自治体でも公立園設置の検討はないものと思われます。		④
145	保護者の要請を取り入れず、計画を進めることは市民のためになるのか。現地での建替え、耐震化を早急に行ってほしい。そのための不便であれば保護者も納得するはず。	1	今後、本市の子育て支援の拠点となる施設の設置や保育の質の向上を考え、この統合施設案を提案したものです。むつみ保育所・児童館の現地建替えを断念した経緯につきましては、意見番号110の市の考え方とおおりです。芦原保育所につきましては、むつみ保育所と同様の耐震性向上のための工事を行う予定としております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしく申し上げます。		③
146	一人ひとりの子供を職員が把握すること、安全管理の徹底、一人ひとりの家庭に対し十分に支援すること、地域性の考慮、落ち着いた雰囲気のもと養護と安全に配慮することなど、十分に討議を重ね、検討すべき。	1	保育士間の連携を密にし、園全体での情報の共有を行い、安全・安心を第一に考え、保育を行えるよう議論を重ねてまいります。		③
147	現施設利用の実態調査・アンケートなど行われないうまま、老朽化だけを理由に建物を建設しても、利用者のニーズとずれてしまうのではないかと。土地があるから統合して無駄をなくそうとしても利用者が使えない施設こそ無駄になってしまうのではないかと。	1	統合施設の建設は、老朽化、耐震化だけを理由にしたものではありません。現地で建て替えると、現在の機能・規模を維持することが困難となるむつみ保育所・児童館と芦原保育所を、統合して一定の規模以上の施設とすることで、充実した職員の配置と施設の多機能化を実現します。これらにより、益々大きくなる保育所に求められる役割、子育てニーズに応え、かつ地域の子供たちに対して支援を進めていくものです。		④
148	他市の保育については、面積も違うし、保育方針も違うので参考にならない。参考にするなら面積等も出すべきである。また、2つの園を統合するのに、乳児部と幼児部を2つに分けるのはおかしい。一つとして把握できないなら、2つの園を統合すべきではない。	1	統合園においても本市の公立保育所と同様に子供の発達に応じて職員が分担し合い、クラスや乳児幼児のブロックで保育をしていくことに変更はありません。保育士も増えるため、保育士間での情報共有や共通理解のための工夫が必要と考えます。副保育所長の複数配置や幼児部や乳児部のブロックごとの時差勤務体制などの事例も参考にして全体把握につながる体制を検討してまいります。		④
149	死亡事例を受けて、SIDSのチェックを導入し、事故がないように向かっているところに、大規模園は必要か。	1	現在公立保育所では、健康観察チェックを行い、睡眠中のチェックだけでなく、検温、機嫌、鼻汁、目や皮膚の状態などを観察し、健康状態に注意しながら一日の保育を行っておりますが、統合保育所においても同様に取り組んでまいります。		③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
■計画全般に関すること					
150	<p>保育指針では、「保育室は、子供にとって家庭的な親しみとくつろぎの場となるとともに、いきいきと活動ができる場となるように配慮する。」とあるが、この規模でそれが可能だということを具体的に示してほしい。</p> <p>複数クラス、かつ、異年齢児も含め、最大250人を超える子供たちがいる保育所は、「家庭的な」環境とはかけ離れている。</p> <p>視察に行った他市の大規模保育所では、幼児部と乳児部を分けて、とあるが、2歳と3歳の乳幼児の兄弟姉妹が完全に分けられてしまうことが、なぜ、充実した保育になるのか。</p> <p>市内にも大規模園があるが、そこでどんな問題が起きているか、保育士の退職率が高いか、それらの実態を掴んでいるか。最初に大規模園建築ありきで、後からの理屈付けをするより、公立保育所にいるその園の退職保育士から事情を聞くなどして、実態を掴む努力をすべき。</p>	1	<p>設計については、乳児室においては保育室内に可動間仕切りを設置したり、幼児室は複数クラスごとに別々にするなど、保育士が、子供一人ひとりと向き合える環境をつくってまいります。また、規模による退職率が高い、低いといったことは、市内の民間の大規模園では、特に無く、視察をした市においても特に差はないと聞いております。</p>		③
151	<p>現状の保育所自体の広さをどう考えているか。保育所が最近「迷惑施設化」しているもとの、より広い所に移転することが困難なため、現在までの建て替え保育所では、十分な広さが取れないことが課題だった。</p> <p>遠い将来、少子化により保育園児が減少すれば、一人あたりの面積は広がるかも知れないが、ここ10年以上、保育園児は増えこそすれ、減少するとは考えられない。</p> <p>仮にキッズパーク横に建てるなら、定員は100人以下にし、余裕のある建築をするべき。そうしてこそ、一時保育を含めた様々な特別保育や地域への開放も可能となる。100人以下なら、駐車台数も限られ、交通上の障害も無くなるだろう。</p> <p>最初に大規模園ありきだからこそ、多くの矛盾が出てくる。「子育てするなら西宮」というなら、むつみ、芦原の各園の2倍、約2,700㎡の敷地に100名以内の保育所と児童館の併設を検討すべき。</p>	1	<p>本市では、子育て支援に力を注いでおり、平成27年度予算でも11.3%の増の予算を編成いたしました。しかし、本市では、当面保育ニーズは、高まると考えており、今後も、子育て施策を推進するためには、財源確保は、市の経営上、大きな課題となっております。限られた財源のなかで、障害児保育の拡充や特別保育の導入を行い、市全体の保育を向上させるためには、現在の計画が適切であると考えております。</p>		④
152	<p>主体性を重んじ、一人ひとりを大切に、見守り型の保育が実践されることは、子供のアタッチメントの安定に大きく貢献している。アタッチメントが安定している子供は、将来、人と安定して関わりながら生きていくことが可能となり、困難にであってもそれを乗り越えていけるレジリエンスを身に付けていくことにつながる。それは、将来、犯罪者やひきこもりになってしまうリスクを軽減予防し、また、生活保護に陥る人を減らすことにつながるためである。</p> <p>このように良く研究された西宮の公立保育所の保育実践の価値をもっと正しく評価するべきである。経営者の事情に左右され、保育方針に差が著しく出てしまう私立の乳幼児保育とは決定的に違う点がある、きちんと理解されての合築案であろうか。西宮の公立保育所が果たしている大きな役割をもっと理解し、次世代育成のために合築計画を真摯に考え直すことを切望する。</p>	1	<p>「共に育てよう未来かがやく子供たちを～保育所から地域へ」の西宮市の保育理念は引き続き大事にしていきます。新しい統合保育所においても、西宮市の実施している保育を大切に、実践するとともに、今後公立保育所として担う必要がある特別保育の推進を図ってまいります。</p>		③

意見番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	分類番号
■計画全般に関すること					
153	大きいだけが良いのではない。今までの保育施設はそのままで、新しく高齢者と一緒になれる保育施設をつくるのなら面白い。	1	開設当初は困難ですが、保育を必要とする児童数減少時には、施設の余剰スペースを用いて、施設の一部を広く地域支援のために活用することも可能になると考えます。		③
154	統合後も、結果の検証として、必ず保護者と意見交換をする場を設け、対応について検討、改善を反映するといういわゆるPDCAをこのプロジェクトできちんと回してほしい。そうすれば、市としてのノウハウが蓄積されると思う。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 西宮市としても事業評価を行う機会はいくつかありますが、CS（市民満足）を図るという趣旨だけでなく、何より子供の安心・安全のために十分結果の検証を行う必要があると考えます。		②
155	周辺施設、近隣幼稚園や小中学校との連携が進み、全市に発信できるような幼児期の教育、体験学習、特別支援教育、交流が進むことを期待する。関係機関が参加するような連携会議の設定や加配の人的配置など、情報交換や連携が進むような仕組みを作り、過度の負担とならずに、有意義な連携が進むようにしてほしい。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> 統合施設は、子育て支援の拠点施設として、モデル的に連携を深めながら、全市に発信できるかたちを目指すものです。ご意見のとおり、人員配置や体制も十分検討し、配属された職員に過度の負担とならずに、持続的に有意義な連携を進められるよう努めてまいります。		②
156	大規模保育所のメリットは十分理解できるが、実際に子供を通わせる親の立場を思うと100%までは行かなくとも、安心できる環境に近づける話し合いを重ねる必要があると思う。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました。</u> これまで保護者説明会を9回開催してまいりましたが、今後とも子供たちが安心してできる環境をつくるために、話し合いを継続し、ご意見をいただいております。		②
157	今まで積み上げてきた一人ひとりを大切にされた保育、異年齢のかかわりを継続できるよう、十分な人的配置やゆとりある保育スペースを考えて欲しい。また、少人数複数学級など、弾力的なクラスの設置を考えてほしい。	1	今までの西宮市の保育の積み重ねを大切に、異年齢の関わりも継続していきます。また、子供にとって安心・安全な環境を作り、一人ひとりを大切にされた保育を行ってまいります。		③
158	子供が安全に過ごせる環境を作るべき。3歳児は今年度から国の基準では15:1になっている。それに合わせたクラス編成も必要。	1	3歳児の国の保育士配置基準は現状20:1ですが、子ども・子育て支援新制度では、3歳児の職員配置を15:1にした場合においても、施設全体の保育士数等の基準を満たす場合には、「3歳児配置改善加算」として、給付費（委託費）が加算されることになっております。現在、本市の公立保育所においては、フリー保育士等の配置も行っており、国の公定価格における3歳児の職員配置の考え方は満たしているものと考えておりますが、今後も保育の充実を図ってまいります。		③
159	子供が元気に楽しく遊べるような環境づくりを切望している。	1	子供が元気に楽しく遊べるような環境の構築について、施設設計に反映できるよう努めてまいります。また、体制や人員配置の面からも、職員の意見も聞き検討をしております。		③
160	0からのスタートならまだしも、元むつみ、元芦原が一つになるのではそれぞれなじめないのでは。	1	規模に関わらず、入所当初は、子供が保育所の環境に慣れないこともあります。元々の保育所で一緒だった友達や保育士もいることから、保育士が子供一人ひとりに寄り添い、徐々に保育所の環境に慣れていけるような対応をしております。		③
161	詳しい専門家を交えて、メリット、デメリットをあげてほしい。	1	今後、専門家の意見も伺いながら、安全で安心な保育が行えるよう体制を整えてまいります。		③
162	保育園の行事で、中央体育館分館の広いグラウンドの利用希望があった場合には利用可能か。	1	園の行事については子供の生活の場を大切にして園内での実施を基本と考えます。また、年長児等の活動などについては近隣の施設等地域の資源を活用した取り組みも検討してまいります。		③
163	縦割り行政の打破を目指した取り組みに見受けられるが各連携がとれるのか。現場の負担、利用者の負担が増えないか、実態に沿った現実的な素案になっているのか、1. 安全面調査、2. 利用施設の適正人数、3. 利用者の満足度の指数などを十分考慮してほしい。	1	こども未来センターや子育て総合センター等と、十分に話し合いをしたうえで連携を図り、新しい西宮市の拠点保育施設となるよう努めてまいります。		③

意見番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案ページ	分類番号
■その他					
164	統合に反対する。	7	パブリックコメントは、市が重要な計画などを立案する際に、情報を公表して市が市民の皆様に対する説明責任を果たし、より公正で透明性のある市政を目指すとともに、市民の皆様から意見を募集し、その意見を計画などに反映させる制度であり、市の計画などに対する賛否を問うものではありませんが、市民の方々のご意見を真摯に受け止め、より良い施設となるよう努めてまいります。		④
165	名札をつけないと名前がわからない保育所はいかがなものか。安全ピンも危険。	4	現在、各保育所において、それぞれ、年度当初には、名札をつけて名前を早く覚えるなどの工夫を行っております。安全ピンについては、より安全なものがあるか研究してまいります。		④
166	保育士の勤務内容や待遇の改善を先に行ってほしい。新しいことを始める前に、今、現実に悩んでいることや問題点をしっかり意見交換するとともに、解決法を考え取り組むことが大事。	1	公立保育所の勤務内容等における処遇改善については、今後も引き続き、検討してまいります。		④
167	今現在でももっと少人数にしてほしいくらいなのに、現場のことを何もわかっていない。	1	規模が大きくなることにより、乳児保育では同年齢クラスを分けることで、寝返りの時期の子供と歩きはじめた時期の子供が交じり合うことなく、安全に遊べる環境を作ることができます。また、発達過程により、興味をひく遊びの内容が異なる子供たちが、成長の過程に応じた遊びをクラスの中で構成することができます。幼児クラスでは、担当する保育士の数が多くなり子供の多様な活動の場を作ることとも可能となります。担当する保育士がより多くなることで、相互に相談や助け合いながら、より多面的に、子供を見ることが可能になると考えています。		④
168	私立の少人数の園をもっと見習うべき。あたたかい保育とは何か。	1	子供は周囲の大人からかけがえのない人間として尊重され愛されることによって、人への信頼感を育んでいきます。園の規模に関わらず、一人ひとりの子供を大切に保育を進めていくことが大切であると考えております。また西宮市の保育理念「共に育てよう未来かがやく子供たちを～保育所から地域～」に基き、統合園においても保護者と共に子供の育ちを支え、地域の子育て支援の拠点として公立保育所の役割を果たしていけるよう努めてまいります。		④
169	近隣でも、宝塚等のほうが、子育て目線で優れた政策が多いように感じる。この街で育った子供が自分も子育てしたいと思えるような街にしてほしい。	1	この計画はこれまで本市で取り組めていなかった特別保育にとり組み、市全体の保育の質の向上を図ることも目的としております。今後も西宮市の子育て支援施策が評価いただけるよう努めてまいります。		④
170	総合教育センターや若竹公民館で実施されている教職員の駐車場も確保しなければ、市内小・中・高校の出張費の増大が見込まれる。	1	現在、整備予定地は、総合教育センターや若竹公民館で教職員の研修等が行われる場合の駐車場として利用されておりますが、教職員の研修会場をどこにするべきなのか、教育委員会と議論してまいります。		④
171	統合しなくても、キッズパークは更に活用できるようにしてほしい。	1	移転し統合することで、保育所と児童館がキッズパークに隣接します。さらに多くの子供達がキッズパークを活用できるように、関係機関と協議を進めてまいります。		④